

職員会議（５月２１日） 校長より

1 期首面談のまとめ

- 引き続き、手厚く、丁寧で、きめ細かな指導・支援をお願いします
- 一方で、無限保障的視点ではなく、限定保障的視点で
- キャリアパスポートを活用するなどして、生徒の成長を見える化

2 授業が勝負

- 育成する資質・能力の評価指標<ルーブリック>や「遠野高校授業スタンダード」を活用し、「主体的・対話的で深い学び」を推進  
<3つの問い（目標・指導・評価の一体化）>
- 授業の目標は何ですか？（育成したい資質・能力は何ですか？）
  - ・ 本校で育成する6つの資質・能力の評価指標<ルーブリック>
  - ・ 学習指導要領が示す資質・能力の3本柱
- そのために、授業でどのように指導しますか？
  - ・ 授業スタンダード
- 授業の目標はどの程度達成できましたか？
  - ・ 学習の評価、学習のための評価、学習としての評価

3 ICTの活用

- 電子黒板やiPad等の活用
- BYOD (Bring Your Own Device : 個人購入の端末の活用)

4 感染症対策を一層徹底

- 県内でも従来に比べ、感染力が強いとされるに変異株の感染が広がっている
- 特に、昼食時の「黙食」の徹底、下校時や部活動後の会食の自粛、部室の3密の回避 など
- 感染症対策を徹底しながら生徒の学びを保障していくという前例のなりリスクマネジメント

5 生徒観察、教育相談

- みんなでSOS (先生も、生徒も) をキャッチ、情報共有することにより、心のケアにつなげる
- SC (スクールカウンセラー)、スクールソーシャルワーカー (SSW) 等との連携
- T-P a Iクラブの活用 (遠野ならではのソーシャルスキルトレーニングのプログラム)

6 リスクマネジメント

- 危機管理マニュアルを確認
- 事務処理は複数点検で（特に、会計処理）

7 地域を学びのフィールドに

- 今年度も遠野和紙保存プロジェクトに取り組み、いわき湯本高校の学びへつなげる（探究学習の教材化）
- 「3. 11」「4. 11」の教訓や復興の過程を理解し、自らの言葉で正しい情報を発信で発信できるように

8 統合校（いわき湯本高校）の準備

- 特色ある教育内容等（教育内容検討委員会）
- 湯本・遠野の打ち合わせ（5月26日（水）） など